

原子力防災訓練を実施

しました

※今年度の訓練では、新型コロナウイルス感染症対策のため、住民の方々の参加は中止しました。

日時	令和4年2月11日(金) 7:00～18:00	主催	鹿児島県, 薩摩川内市, いちき串木野市, 阿久根市, 鹿児島市, 出水市, 日置市, 姶良市, さつま町, 長島町
参加機関	約170機関(年度間※:約190機関)		
参加者数	約1,800人(年度間※:約5,000人)		

※年度間には、令和3年度において2月11日以外に原子力防災訓練を行った学校等を含みます。

1 警戒事態における 初動対応訓練

発災直後の関係職員の参集やオフサイトセンター立ち上げ手順の確認等を行いました。

また、県災害対策本部では、オフサイトセンターや関係市町との間でテレビ会議システムを活用し、情報共有等を行いました。



2 オフサイトセンター 参集・運営訓練

国、自治体、事業者等で、合同の会議を開催し、情報共有を行いました。

また、オフサイトセンターにおいて、放射性物質を含む外気の侵入を防ぐ放射線防護設備を稼働する訓練を行いました。



3 住民等に対する 広報訓練

広報車、防災行政無線、緊急速報メール、SNS等による情報伝達訓練を行いました。

また、観光施設においては、外国人を含む観光客等を対象とした館内放送等を行いました。



4 避難・避難誘導、 屋内退避訓練

地震による家屋倒壊等により自宅等での屋内退避ができないことを想定し、近隣の避難所での屋内退避訓練を行いました。

また、車いす利用者が福祉車両に乗車して避難する訓練を行いました。



5 避難所設置等訓練

避難元と避難先の自治体で避難所における住民の受入等の手順を確認しました。

また、防災用品等備蓄物資の展示や健康相談窓口を開設したほか、視覚障害者・聴覚障害者等を想定した受入対応を行いました。



6 避難退域時検査・ 原子力災害医療措置訓練

避難車両や避難する方の、放射性物質による汚染状況を確認する避難退域時検査を行いました。

また、避難する方の汚染検査では、感染症が疑われる方とそうでない方の検査レーンを分けて設置して訓練を行いました。



7 自衛隊など 実動機関との連携

地震による倒木等で通行不能となった避難経路を復旧するための道路啓開訓練を行いました。

また、県災害対策本部、オフサイトセンター等へ連絡要員の派遣を行いました。



8 発電所における 事故拡大防止訓練

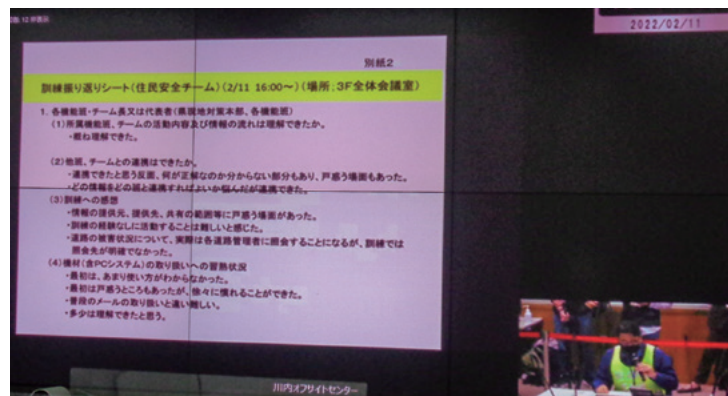
川内原子力発電所では、全交流動力電源喪失等の緊急時対応訓練として、可搬型設備を使用した格納容器内の冷却手順の確認を行いました。

また、緊急時対策所では、社内外関係箇所への通報連絡訓練を行いました。



訓練を振り返って

- 参加機関の職員から、関連機器の操作の習熟や、より多くの要員の訓練参加の必要性などが課題として挙げられました。
- 今後、外部委託による評価・検証結果、参加機関や専門委員会の意見も踏まえて、課題とその対応等を整理し、来年度以降の訓練に生かすとともに、原子力防災アプリの普及や防護資機材の整備を進めてまいります。



現在開発中の原子力防災アプリを活用した訓練も実施

原子力防災アプリについては、裏表紙でもお知らせを掲載しています。

- 一時集合場所、避難所での受付登録



- 避難退域時検査での避難車両の到着や検査結果の登録



- 安定ヨウ素剤の配布状況の登録

